

経済データで見る「最近の世界経済動向(2016年8月~10月)」

\* 青字は悪化指数、%:前年比、CPI:消費者物価、PMI 製造業景況指数、2016.10. 20. 現在 日本機械輸出組合

	2016年8月	2016年9月	2016年10月	最近の経済動向
世界	トハイ原油 3日 38.6ドル、19日 48.2ドル、31日 45.1ドル 28日 TiCAD アフリカの成長には①経済の多角化、②人材育成、③保健システム必要	トハイ原油2日 42.2ドル、9日 45.7ドル、30日 46.8ドル 5日 G20: 下振リスクにあらゆる政策	トハイ原油3日 47.1ドル、11日 50.3ドル、19日 49.4ドル 7日財務相 G20 緩和長期化懸念 6日地球温暖化パリ協定発効	・米国は投資、生産低下でやや弱含み。欧州は消費中心に緩い回復持続。日本停滞気味。中国は 6.7%に減速。インド、フィリピン7%、インドネシア、ベトナム5%、マレーシア4%、タイ3%台、シンガ2%台、台0%台、韓2%台。ブラジル、ロシアは長期低迷。
日本	-財政・金融: 3日、経済対策事業 28 兆円、国費 7.5 兆円、25 日: 第2次補正予算国費 6.2 兆円 -株価: 3日 16,083、12日 16,919、31日 16,887 -雇用: 7月: 失業率 3.0% 前月比 0.1ポ改善、 -所得: 7月: 実質賃金 2.0%増、現金給与総額 1.4%増 -消費: 7月: 消費支出 0.5%減、小売販売 0.2%減、車販売 2.2%減、CPI 0.5%下落、住宅着工 8.9%増 -受注: 7月: 機械受注 12.8%減、工作機械 19.7%減、産業機械 18.7%減 -生産: 7月: 鉱工業 4.2%減、在庫 1.8%減、四輪国内生産 4.1%減、建設機械出荷 19.5%減、 -貿易: 7月: 輸出 14%減 10カ月一、輸入 24.7%減 -収益: 4-6 月: 営業益: ホンダ 12%増、スズキ 20%増、富士重 25%減、三菱自 70%減、コカ-Cola 10%減、東芝 200 億円黒、純益: 京セラ 45%減、エプソン 61%減、東京エレクト 35%減、日本電産 5%減、三菱商 35%増、三井物 37%増、住商 72%減、1-6 月: 営業益: キヤン 36%減 -投資: 7月: 機械受注民需 2.1%減	-財政・金融: 21日、日銀マイナス金利維持、10年物 0%誘導 -株価 1日 16,926、6日 17,081、30日 16,449 -雇用: 8月: 失業率 3.1%、0.1ポ上昇 -所得: 8月: 実質賃金 0.5%増 7カ月+、現金給与 0.1%減 -消費: 8月: 消費支出 4.6%減 6カ月一、小売業 2.1%減 6が月一、新車販売 2.9%増 4カ月ぶり+、住宅着工 2.5%増 2カ月連続+ -受注: 8月: 機械受注 4%減、工作機械 8.4%減 13カ月一、産業機械 31.5%減 -生産: 8月: 鉱工業 4.5%増 IT、省エネ投資、自動車 9.6%増 3カ月ぶり+、熊本地震減産の挽回 -貿易: 8月: 輸出 9.6%減 11カ月一、入 17.3%減 -収益: 4-6 月: 経常益: 法人企業 10%減、4-9 月: 営業益: 東芝 700億円黒字、最終損: 川重 50 億円 -投資: 8月: 機械受注民需 2.1%増	-景気: 9月大企業景況感+6前月比横這い -株価 3日 16,598、13日 17,024、19日 16,998 -消費: 9月: 新車販売 3.7%増 2カ月+ -収益: 12-8月: 純益: 不二越 66%減、ローム 73%減、 -受注: 工作機械 6.3%減 14カ月一、産業機械 31.5%減 -収益: 12-8月: 純益: 不二越 66%減	(前々月)・GDP4-6 月は前期比年率 0.7%増でやや増。7月失業率 3.%でさらに低下、実質所得は 6 カ月連続増加。車販売 4カ月ぶりプラス、住宅着工好調。消費支出低迷、輸出 10 カ月連続一、鉱工業生産 3カ月一、設備投資やや回復傾向で、景気は消費・輸出・生産を中心に停滞気味。上場企業経常益 4-6 月は 18%減で三四半期一、一部自動車・機械を除き全業種前年比一。株価は上下しつつも緩やかな回復傾向。景気回復持続、輸出拡大、財政赤字縮小が課題。円高が懸念材料 (前・当月)・GDP4-6 月は前期比年率 0.7%増でやや増。8月失業率 3.1%でやや悪化、実質所得は 7カ月連続増加。車販売 2 カ月連続+、住宅着工 2カ月連続+。しかし消費支出 6カ月連続一、輸出 11カ月連続一、鉱工業生産熊本地震後増産で+、設備投資やや回復、景気は消費・輸出を中心に停滞気味もやや上向きの動きも。上場企業経常益 4-6 月は 10%減で三四半期一、一部自動車を除き全業種で前年比一。株価は 17000 台を上下。 景気回復持続、輸出拡大、財政赤字縮小が課題。円高が懸念材料
アジア・大洋州	-株価: 上海: 1日 2,953、15日 3,125、31日 3,085 -中国: 7月: 小売 10.2%増、工業生産 6%増、新車販売 23%増 5ヶ月+、輸出 4.4%減 4ヶ月一、輸入 12.5%減 21ヶ月連続一、PMI 49.9、1-6 月: 純益: 上場企業 5%減、1-7 月: 固定資産 8.1%増 -韓国: 11 日政策金利 1.25%据置、7 月: 輸出 10.2%減 19ヶ月一、4-6 月: 営業益: 現代自 9期連続マイナス -台湾: 7月: 輸出 1.2%増 18カ月ぶり+ -シンガポール: 7月: 新車販売 17.7%増 -フィリピン: 7月新車販売 22%増、 -ベトナム: 7月: 新車販売 37.6%増 -インドネシア: 21日: 政策金利 6.5%据置、7月: 新車販売 12.5%増、 -タイ: 7月: 車生産 7.1%減、新車販売 0.4%減 -マレーシア: 7月: 車販売 27.6%減、 -インド: 7月: 新車販売 13.6%増 31.2 万台 21カ月+、4-6 月: GDP 7.1%増減速、消費 7%台、投資 3%減	-株価: 上海: 8日 3,095、26日 2,980、30日 3,004 -中国: 8月: 社会品小売額 10.6%増、工業生産 6.3%増、新車販売 24.2%増 6ヶ月+、輸出 2.8%減 5ヶ月一、輸入 1.5%増 22ヶ月ぶり+、PMI 50.4、0.5ポ改善、1-8 月: 固定資産投資 8.1%増 -韓国: 8月: 輸出 2.6%増 20ヶ月ぶり+、輸入 0.1%増 23ヶ月ぶり+、新車販売 12.6%減、 -台湾: 8月: 輸出 1%増、輸入 0.8%減、海外受注 8.3%増 -フィリピン: 8月: 新車販売 40.1%増、 -ベトナム: 8月: 新車販売 29.1%増 -インドネシア: 23日: 0.25%引下げ年 5%へ、政策金利 6.5%据置、8月: 新車販売 6%増 -タイ: 14日: 政策金利 1.5%据置、8月: 新車販売 2.6%増、 -マレーシア: 8月: 車販売 2.1%減、 -シンガポール: 8月: 新車販売 51.7%増 -インド: 8月: 新車販売 7.7%増	-株価: 上海: 11日 3,065、12日 3,058、19日 3,084 -中国: 9月: 輸出 10.0%減 6ヶ月一、輸入 1.9%減、新車販売 26.1%増 256万台、減税駆込、7-9月 GDP 6.7%増、1-9 月: 社会品小売額 10.4%増、固定資産投資 8.2%増、不動産投資 5.8%増、工業生産 6.0%増、横這 -韓国: 9月: 輸出 5.9%減、スライ、スマホ減、輸入 2.3%減、7-9 月: 営業益: サムスン 30%減 4800 億円 -台湾: 7-9 月: 営業益: TSMC 36%増 3400 億円 -フィリピン: 9月: 新車販売 16.2%増 -ベトナム: 9月: 新車販売 24.3%増 -インドネシア: 9月: 新車販売 0.1%増 -シンガポール: 9月: 新車販売 51%増 -インド: 4 日: 政策金利 0.25%- 6.25%へ 9月: 新車販売 15.3%増 34 万台	(前々月)・中国4-6月 GDP6.7%横這。新車販売減税で6カ月+、輸出低迷。小売売上高は辛うじて二桁、設備投資8%台へ、工業生産、不動産投資は 6%台もやや回復兆し。景気は緩やかに減速。企業業績全般的に好調。株価は3千台回復。韓国、輸出 20 ヶ月ぶり+、投資一も消費好調で GDP2%台へ、企業業績は電子中心に堅調。台湾、輸出2カ月連続+、生産回復傾向で GDP 1 年ぶりプラスへ。直近の ASEAN の GDP、フィリピン7%台、インドネシア、ベトナム5%台、マレーシア4%台、タイ3%台、シンガ2%台。インドは生産・投資マイナスも、利下げで車販売中心に消費好調で 7%台成長 (前・今月)・中国 7-9 月 GDP6.7%横這。新車販売減税で9月迄7カ月+、輸出長期低迷。小売売上高は辛うじて二桁、設備投資8%台維持、工業生産6%増、不動産投資5%台で更に減速。景気は緩やかに減速。企業業績マイナスへ。株価は3千台回復。韓国、9月輸出再び一、投資一も消費が好調で GDP2%台へ、企業業績は電子もマイナス。台湾、輸出2カ月連続+、生産回復傾向で GDP 1 年ぶりプラスへ。直近の ASEAN の GDP、フィリピン7%台、インドネシア、ベトナム5%台、マレーシア4%台、タイ3%台、シンガ2%台。インドは生産・投資マイナスも、利下げで車販売中心に消費好調で7%台成長

北米	<p>-GDP:4-6 月期 前期比年率 1.4%増</p> <p>-景気:26日 FRB 議長、追加利上げ条件整う</p> <p>-株価:2日 <u>18,313</u>、15日 18,636、<u>31日 18,400</u></p> <p>-雇用:7月:失業率 4.9%前月比横這、25.5 万人増、<u>シスコ 5,500 人削減</u></p> <p>-消費:7月:小売売上高前月比横這、新車販売 0.7%増 152 万台、新築販売 31.3%増、住宅着工 5.6%増、<u>中古住宅 1.6%減</u></p> <p>-生産:7月:鉱工業前月 0.7%増</p> <p>-貿易:7月:輸出 2.8%減、輸入 2.5%減</p> <p>-投資:7月:設備稼働率 75.9%</p>	<p>-<b>財政・金融</b>:23日 FOMC 金融政策現状維持、利上げ見送り</p> <p>-<b>景気</b>:8日 FRB 経済活動、緩やかな拡大</p> <p>-<b>株価</b>:<u>1日 18,419、14日 18,034、30日 18,308</u></p> <p>-<b>雇用</b>:8月:失業率 4.9%前月比横這</p> <p>-<b>所得</b>:8月:平均時給 2.4%増</p> <p>-<b>消費</b>:8月:小売売上高 1.9%増、<u>前月比 0.3%減、新車販売 4.1%減3カ月ぶり</u>、住宅着工 0.9%増、<u>前月比 5.8%減</u>、中古住宅 0.8%増、<u>前月比 0.9%減</u>、新築戸建 20.6%増</p> <p>-<b>生産</b>:8月:鉱工業 1.1%減、<u>前月比 0.4%減</u></p> <p>-<b>貿易</b>:8月:輸出 0.9%増、輸入 2.5%減</p> <p>-<b>投資</b>:8月:<u>設備稼働率 75.3%</u></p>	<p>-<b>景気</b>:9月:製造業景況感 51.5、2ポ上昇</p> <p>-<b>財政・金融</b>:<u>財政赤字16年度61兆円 34%増、医療保険増大</u></p> <p>-<b>株価</b>:<u>4日 18,168、10日 18,329、18日 18,161</u></p> <p>-<b>雇用</b>:9月:<u>失業率 5.0%前月比 0.1ポ3ヶ月ぶり悪化</u></p> <p>-<b>所得</b>:9月:平均時給 2.6%増</p> <p>-<b>消費</b>:9月:小売売上高 2.7%増、前月比 0.6%増、<u>新車販売 0.5%減</u>、143 万台 <u>2カ月連続一</u></p> <p>-<b>生産</b>:9月:鉱工業 1%減</p> <p>-<b>収益</b>:7-9 月:純益 IBM3%減 3千億円、インテル 9%増 3500 億円</p> <p>-<b>投資</b>:9月:<u>設備稼働率 75.4%</u></p>	<p>(前々月)・GDPは4-6月前期比年率 1.4%増で 14 四半期連続+。8月失業率 4.9%で横這い。所得改善傾向、住宅販売高水準も車販売 3 ヶ月ぶり一、個人消費は横這い傾向。輸出はドル高で一、設備投資低下へ、生産は増加傾向。景気はやや弱含みへ。企業収益4-6月 2.6%減で4期連続一、IT、システム、自動車は斑模様。株価は最高益からやや低下。成長持続、雇用拡大が課題。今後の金利上げの可否・影響が懸念材料。</p> <p><b>(前・今月)・GDPは4-6月前期比年率 1.4%増で 14 四半期連続+。9月失業率 5.0%0.1ポ悪化。住宅販売高水準も車販売 2カ月連続一、所得改善傾向で個人消費は堅調。輸出はマイケスからやや増へ、設備投資低下へ、生産は2カ月連続一。景気はやや弱含み。企業収益 4-6 月 2.6%減で4期連続一、IT、自動車は斑模様。株価は最高益からやや低下。成長持続、雇用拡大が課題。今後の金利上げの可否・影響が懸念材料。</b></p>
欧州	<p>-<b>財政・金融</b>:4日:英政策金利 0.25%減で 0.25%へ7年ぶり</p> <p>-<b>株価</b>:FT:<u>3日 6,634、15日 6,941、31日 6,781</u></p> <p>-<b>雇用</b>:7月:失業率:ユーロ 10.1%、横這、独 4.2%、仏 10.3%、伊 11.4%、スペイン 19.6%、蘭 6.0%、ポーラ 6.0%</p> <p>-<b>消費</b>:7月:小売売上高:ユーロ 2.9%増、独 1.5%増、仏 1.4%増、英 6.4%増、伊 0.5%、スペイン 5.3%増、蘭 2.3%増、ポーラ 7.1%増、<u>新車登録:独 3.9%減4カ月ぶり一、仏 9.6%減</u>、英 0.1%増、伊 2.9%増、スペイン 4.3%増、<u>蘭 7.6%減</u>、ポーラ 5.0%増</p> <p>-<b>生産</b>:7月:鉱工業:ユーロ 0.5%減、<u>独 1.7%減、仏 0.3%減</u>、英 2.3%増、<u>伊 0.3%減、スペイン 0.9%減、蘭 0.2%減</u>、ポーラ 0.9%増</p> <p>-<b>貿易</b>:7月:ユーロ輸出 10%減、輸入 8%減、</p> <p>-<b>収益</b>:4-6月:<u>1株当り利益 7.7%減3四半期ぶり</u></p>	<p>-<b>株価</b>:FT:2日 6,894、<u>13日 6,665、29日 6,919</u></p> <p>-<b>雇用</b>:8月:失業率:ユーロ 10.1%、横這、独 4.2%、仏 10.5%、伊 11.4%、スペイン 19.5%、蘭 5.8%、ポーラ 5.9%</p> <p>-<b>消費</b>:8月:小売売上高:ユーロ 2.1%増、独 0.9%増、<u>仏 1.5%減</u>、英 6.3%増、スペイン 3.3%増、ポーラ 10.8%増、<u>新車登録</u>:欧州 8.5%増、独 8.3%増、仏 6.7%増、英 3.3%増、伊 20.1%増、スペイン 14.6%増、<u>蘭 12.1%減</u>、ポーラ 24.3%増</p> <p>-<b>生産</b>:8月:鉱工業:ユーロ 1.8%増、独 2.1%増、仏 0.2%増、英 1.9%増、伊 4.1%増、スペイン 3.8%増、蘭 4.7%増、ポーラ 5.1%増</p> <p>-<b>貿易</b>:8月:ユーロ輸出 8%増、輸入 4%増、</p>	<p>-<b>財政・金融等</b>:英首相、来年3月末までに EU 離脱通告</p> <p>-<b>株価</b>:FT:<u>3日 6,983、10日 7,090、18日 7,000</u></p> <p>-<b>雇用</b>:5日 <u>エリクソン3千人削減</u>、13日 <u>VW 2.5 万人早期退職</u></p> <p>-<b>消費</b>:9月:新車登録:欧州 6.4%増、独 9.4%増、仏 2.5%増、英 1.6%増、伊 17.4%増、スペイン 13.9%増、<u>蘭 4.2%減</u>、ポーラ 19.8%増</p>	<p>(前々月)・GDP4-6月ユーロ圏 1.2%成長、13 四半期+。失業率は7月 10.1%で高水準横這。<u>車販売8月迄 37 カ月堅調に推移</u>、消費は英、仏、独、スペイン、ポーラ中心に堅調、輸出4カ月一、投資やや増、生産は7ヶ月ぶり一。景気はやや弱含み。英国は金利引下げ。<u>企業業績3四半期ぶり一</u>、自動車、システム、電機は斑模様。株価は 6700 を上下。高水準の失業率の低下、景気回復持続が課題。英 EU 離脱の影響、難民問題、ウクライナ問題、南欧債務、景気下振れリスクが懸念材料</p> <p><b>(前・今月)・GDP4-6月ユーロ圏 1.2%成長、13 四半期+。失業率は8月 10.1%で高水準横這。車販売9月迄 38 カ月堅調に推移、消費は独、伊、スペイン、ポーラ、仏、英、中心に堅調、8月輸出十へ、投資やや増、生産は8月プラスへ。景気は全般に堅調。企業業績 4-6 月3四半期ぶり一、自動車、電機は斑模様。株価は 7000 台回復。高水準の失業率の低下、景気回復持続が課題。英 EU 離脱の影響、難民問題、ウクライナ問題、南欧債務、景気下振れリスクが懸念材料</b></p>
中東ア	<p>-トルコ:23日 政策金利 0.25%下げ 8.5%へ、7月:<u>新車販売 31.3%減</u> 6万台、4-6月 GDP 3.1%増</p> <p>-サハラ以南:16年:GDP 1.6%増下方修正</p> <p>-南ア:7月:<u>新車販売 17.0%減 4.5 万台</u>、</p>	<p>-トルコ:22日 政策金利 0.25%下げ 8.25%へ、8月:<u>新車販売 13.5%減</u> 7.3万台、</p> <p>-南ア:8月:<u>新車販売 9.5%減 4.6 万台</u>、</p>	<p>-トルコ:9月:新車販売 3.7%増 6.9万台、</p> <p>-南ア:9月:<u>新車販売 14.3%減 4.7 万台</u>、</p>	<p>・シリア、イラク、リビア、イエメン、ナイジェリア、南スーダン等で政情不安定。イラン、エジプト安定化。サウジアラビア財政悪化、UAE、クウェート、オマーンも。トルコ非常事態も3%台成長。南ア、物価高、金利上げ、車販売減速等も3%台成長へ。サブサハラ1%台成長に下方修正。資源価格の安定、政治の安定化が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:1日ルセフ大統領罷免、7月:<u>新車販売 20.3%減</u>、4-6月:GDP 3.8%減9四半期一、消費▲5%、投資▲8.8%</p> <p>-メキシコ:7月:消費 3%減、新車販売 11.8%増 13.2万台、1-7月:車生産 1.2%減</p>	<p>-ブラジル:8月:<u>新車販売 11.3%減 18.4 万台</u>、</p> <p>-メキシコ:29日:政策金利 0.5%引上げ 4.75%へ、8月:新車販売 19.6%増 13.4万台、</p>	<p>-ブラジル:9月:<u>新車販売 20.1%減 16 万台</u>、</p> <p>-メキシコ:9月:新車販売 18.1%増 13.1万台、</p>	<p>・ブラジル経済は物価上昇、通貨安、金融引締め、消費、生産、投資の低迷でGDP4-6月9期連続一。ペネシアは経済緊急事態中。<u>メキシコ経済、生産低下も車販売好調で4-6月は2%台成長。</u></p>
露東欧	<p>-ロシア:7月:<u>新車販売:16.6%減 10.9 万台</u>、</p>	<p>-ロシア:16日:政策金利 0.5%下げ 10.0%へ、8月:<u>新車販売:18.0%減 11.4 万台</u>、</p>	<p>-ロシア:9月:<u>新車販売:10.9%減 12.6 万台</u>、</p>	<p>・ロシアは対口制裁、原油安等輸出減、賃金減少、通貨安、消費、投資、生産低迷、GDP4-6月 0.6%減と経済長期低迷続く対口経済制裁、原油安の影響懸念材料、経済回復が課題</p>